



令和5年10月24日

芽室町議会議長 梶澤 幸治 様

今シーズンのメムロスキー場の営業に関する陳情書

中川郡幕別町忠類錦町427番地4

十勝スキー連盟会長 丸田 耕志



連絡先

十勝スキー連盟

副会長 藤谷 謹至

中川郡幕別町忠類本町135番地

TEL 090-2073-7560

今シーズンのメムロススキー場の営業に関する陳情について

9月22日の十勝毎日新聞によりますと、町は、21日の町議会での一般会計補正予算案の否決を受け、今シーズンのスキー場営業を中止するとの報道がありましたが、メムロススキー場は、昭和46年のオープン以来、十勝の中心的なスキー場であり、初心者から上級者まで多くの方に愛されるファミリーゲレンデとしてスキー・スノーボードの普及発展に大きな役割を果たしているものと認識をいたしております。

このようなことから、メムロススキー場の営業中止は、スキー・スノーボーダーを始め、メムロススキー場を主な練習場としている競技者や資格受験者、町内外の小中高校のスキー授業などに対する影響は計り知れないものであり、また、メムロススキースクールが果たしてきた社会的な役割も大きく、一シーズンでも休校することは、メムロススキースクールの開校を待ち望んでいる多くの子どもたちの貴重なスキー・スノーボード学習の場を奪うものでもあります。

つきましては、社会体育施設としてのメムロススキー場の重要性を再認識し、営業継続を最優先事項として捉え、今シーズンは、めむろ新嵐山株式会社に勤務する索道技術管理者をはじめとするスキー場運営に必要な職員を、町の会計年度任用職員として任用するなどし、町直営での営業を強く要望いたします。